

シルクロードに 悠久の夢と ロマンを馳せて

撮影：山田 勝久

シルクロードは悠久 2000 年の文化交流の道です。長安からローマまでの 12000 キロの旅の中で、とくに注目すべきは楼蘭と敦煌です。私は楼蘭には 3 回踏査し、敦煌には 20 余回訪ねました。現地での調査結果をふまえ、最新の研究成果をもとに、その文化と歴史を分かりやすく解説します。

- 第1回 5月28日(木曜日)
砂漠の大画廊、敦煌の美と心
- 第2回 6月25日(木曜日)
トルファンの興亡の歴史を学ぶ
- 第3回 9月3日(木曜日)
仏教東漸の道シルクロードを歩く
- 第4回 10月29日(木曜日)
チベットからネパールの山河を踏査
- 第5回 11月26日(木曜日)
タクラマカン砂漠の遺跡に立つ



講師 山田 勝久さん(大阪教育大学 名誉教授)

会場 大阪府立中央図書館2階多目的室(東大阪市荒本北 1-2-1)

定員 各回 70 名(事前一括申込、多数抽選、受講料無料)

時間 各回 14 時~15 時 30 分(開場 13 時 30 分)

【講師紹介】

1943 年 愛知県生まれ。北海道教育大学教授。大阪教育大学教授・学長補佐・附属池田中学・高校併任校長。私立大学副学長・理事・教授・客員教授を歴任。楼蘭王国の陵墓の壁画の調査、その他、パルミラやサマルカンドやネパールなどの遺跡を踏査。西域を中心として 26 カ国 68 回を旅する。著書に『唐代散文選』、『唐代文学の研究』、『唐詩の光彩』、『シルクロードの光彩』、『シルクロード悠久の天地』(笠間書院)、『パルミラの光彩』(雄山閣) など多数。

※ 申込方法は、裏面をご覧ください。